

平成30年第4回明和町議会定例会一般質問事項

平成30年12月10日(月)

1 7番 斎藤 一夫議員

1. 検定試験について

- (1) 中学校の各検定の実施状況と今後の方針は。
- (2) 小学校での漢字検定の実施は。
- (3) 小学校での英語検定の実施は。
- (4) 小学校での数学検定の実施は。

2. まちづくり会社について

- (1) 検討委員会の進捗状況は。
- (2) 町の負担割合は。
- (3) 町が負うべき責務の内容は。
- (4) 駅前開発に関しての実施は。
- (5) 医療区の内容は。

2 6番 坂上 祐次議員

1. 町政の動向について

- (1) 町長就任から今日までの実績及び自己評価は。
- (2) 今後の事業展開は。
- (3) 平成31年4月に予定されている町長選挙への意欲は。

3 9番 早川 元久議員

1. Mターン促進奨励金事業について

- (1) Mターン促進奨励金事業について
 - ① 奨励金の交付件数の見込みは。
 - ② 事業の周知はどのように行っているのか。
 - ③ 事業の今後の展望は。

2. 空き家対策について

- (1) 空き家対策について
 - ① 空き家の寄付受入制度を設けられないか。
 - ② 空き家の取得、リフォームへの補助制度を設けられないか。

3. 高齢者の交通対策について

- (1) 高齢者の交通対策について
 - ① 公共施設送迎バス時刻表の配布について。
 - ② 福祉タクシー券を車の所有に関係なく交付を。
 - ③ デマンドタクシーの導入など今後の対策は。

4 4番 岡安 敏雄議員

1. 障害者雇用の水増し問題について
 - (1) 厚生労働省による調査で国を始め都道府県の職員において国が示す基準を満たすため、雇用人数や障害程度の不正算入が問題になっている。町においては現状どのように把握しているのか。
2. 優生保護法に基づく町の対応は
 - (1) 1948年に優生保護法として「不良な子孫の出生を防止」するとして不妊手術が強制された。全国で8万4,000人のうち1万6,500人は同意なく行われたともいわれている。こうした人権問題が明和町、合併前の三村になかったかどうか伺う。
3. ふるさと納税返礼品・基準問題について
 - (1) 政府はふるさと納税制度が過熱しているとして返礼品を現地産品や30%程度とするなど基準規制を示し、基準を守らない場合は制度から除外することも検討としている。11月17日報道によると、甘楽町・千代田町は違反、明和町など5町村は地場産品以外を扱っていると指摘されていた。町の今後の対応は。
4. 川俣駅周辺地区開発構想について
 - (1) 広報11月号でも掲載され町民の期待は大きい。実現するための手順や資金、年月など具体的にどのように考えているのか。

5 2番 田口 晴美議員

1. 家庭系ごみの排出先について
 - (1) もったいない西館の開館を機に、各もったいない館ともビン類・蛍光管を加えられないか。
2. 利根川総合運動場の管理について
 - (1) 現在の管理体制について
 - (2) 台風接近時の工作物撤去について